



EAnetwork

11/18は(社)土木学会が定めた「土木の日」。その由来は、土木の2文字を分解すると十一と十八になることと、土木学会の前身である工学会の創立が明治12年(1879)の同日であることだそうです。紅葉の季節にお勧めの土木景観のひとつに京都・南禅寺の水路閣があります。ぜひ、一度足をお運び下さい。

☆ Environmental column ☆

アスベストと我々の暮らし：調査と分析

アースアプレイザルでは、アスベストに関する調査・分析・コンサルティング・対策等、様々なサービスをご提供しております。その中で、私がマネージャーを担当しておりますEFAラボラトリーズは、米国の有数のアスベスト分析ラボ、フォレンジック・アナリティカル社(カリフォルニア州)と業務提携し、その東京ブランチとして設立されました。

アスベストには6種類あり、特に日本で見られるのは、クリソタイル(白石綿)、クロシドライト(青石綿)、そしてアモサイト(茶石綿)の3種類です。これらの製造・使用は禁止されましたが、すでに大量のアスベストが建物中の断熱材や保温材、あるいは天井板や床材といった多岐にわたる建材に使用されてきています。

アスベストの危険性は、今年の夏ごろからその一般の人々に意識されるようになりました。しかしながら、繊維が空気中に舞いやすい性質(飛散性)の吹付アスベスト等だけでなく、比較的飛散しにくい性質(非飛散性)のアスベスト含有の成形材まで、状態やアスベスト含有率に関係なく、存在するだけで「危険」と思われているようです。また一方で、吹付アスベストが存在していても、露出さえしていなければ「安全」と思われているケースも見受けられます。

実際には、天井裏に吹付アスベストが存在している場合、天井板で囲い込まれていても、換気扇や天井ボードの隙間から落ちてきて空气中を舞う可能性も考えられます。またエレベーターシャフトの中に吹付アスベストが使用されている場合、エレベーター上部の換気口からアスベスト繊維が入ってきて、知らずに吸い込んでいる危険も考えられます。そのため、アスベストのリスクをより正確に把握するためには、建材の「含有量」の調査・分析だけでなく、「使用部位」、「建材の状態」と「アクセス状況」の調査がたいへん重要となってきます。

EFAラボラトリーズは、10月24日から26日にかけて東京ビッグサイトで行われたアスベスト対策環境展に出展いたしました。プレゼンテーションでは「合理的な米国式アスベスト分析：日米分析の比較」の講演、ブースでは偏光顕微鏡による分析の実演を行いました。3日間のブースでの実演においては、モニターに映し出されるアスベスト繊維の形状や色、数種の光学的な特長(光の当て方で色彩が変化していく、消えるなど)で、アスベストの正確な同定がすばやくできることが、見学者の高い関心を得ました。

今後はアスベストの効果的かつ効率的な管理が求められてくると考えられます。そのためにはただ単に恐怖心を持つのではなく、アスベストに対する理解を深めてどう付き合っていくかが、なにより重要であると思っています。次回はアスベスト管理と対策についてお話ししたいと思います。

☆土壌汚染対策法第5条第1項に基づく指定区域、現在の状況☆

2006年10月31日現在、土壌汚染対策法第5条第1項に基づく指定区域が全国で78カ所になっています。また、過去に指定され一部解除されている地域は、8カ所、解除が66カ所になっております。環境省HP <http://www.env.go.jp/water/dojo/sekou/shitei.html>

環境省HPは、毎月15日頃更新されます。(今月は31日付)

10月の環境省HPに掲載されている指定区域は78カ所、一部解除されている区域は8カ所、解除は65カ所の計151カ所となっています。8月16日から10月31日の指定区域の状況を調査した結果、環境省に報告が遅れていると思われる区域が3カ所あったため、上記の数字と異なる場合があります。各自治体の新規情報は以下の通りです。

67：千葉県船橋市北本町1丁目（一部指定解除）H18.4.24→H18.10.11

100：山口県周南市栗屋奈切50（解除）H18.10.31

未掲載：大阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝1丁目（指定）H18.10.27

☆第8回不動産ソリューションフェアに出展致します☆

アーステクノ（総括代理店）は、㈱イトーキと共同で2006年11月28日～29日に開催される第8回不動産ソリューションフェア（ビル経営を中心とした不動産業界関連の情報、製品、サービスの展示・セミナー複合イベント）に出展致します。（東京ビックサイト西3・4ホール ㈱イトーキ ブース内/10：00～17：00）入場料は無料です。

アーステクノ株式会社連絡先 フリーダイヤル0120-43-5140（資産向上）

今回のEAnetworkいかがでしたでしょうか。このニュースレターへの感想や土壌汚染に関するご質問など、お気軽にFax またはnews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

このEAnetworkは、過去に弊社セミナーにご参加いただいた方及び弊社へ調査のご依頼を頂いたお客様にお送りしております。以後メーリングリストでの配信希望の方は、下記にチェックの上FAXにてご返送、またはnews@earth-app.co.jpまでご連絡ください。

弊社の個人情報保護に関する基本方針は、弊社ホームページに掲載しております (<http://www.earth-app.co.jp/privacypolicy.htm>)。個人利用に関して同意いただけない場合、また、今後配信を希望されない方は、お手数ですが同様にご連絡ください。基本方針に基づき、責任を持って登録を削除させていただきます。

株式会社アースアプレイザル

編集者：藤井史枝

伊藤祥子

TEL: 03-5298-2151

FAX 03-3252-5411

会社名

お客様名

次回の配信から、メーリングリストでの配信希望 e-mail:

次回の配信を希望しない

コメント

アースアプレイザルグループおよび業務提携先

札幌アースアプレイザル（北海道）、アースアプレイザルN・E（神奈川）、中央開発・基礎地盤コンサルタンツ・ジオテック・

りんかい日産建設・協和地下開発（関東）、アイエーシー（神奈川）、細野建設（長野）、トーエネック・フルエンゲル・

東邦地水（中部）、建設基礎調査設計事務所（静岡）、阪神測建（関西）、三協エンジニア（奈良）、エイトコンサルタント（岡山）、

復建調査設計（広島）、藤井基礎設計事務所（鳥根）、日本地研・アースアプレイザル九州（福岡）、

リサイクルワン、グリーンフィールドEA（大阪）